

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 234

2025・12・2

初冬の糺へ歸る禰宜一人

ー正岡子規ー

流鏑馬道に、陽を受けた落ち葉が
はらはらと舞いおり
長谷寺の紅葉がライトアップされ
浄智寺脇の小路には
銀杏の黄色い絨毯が敷き詰められて
2025 年も師走となりました
これが私の今年の一冊！という本に
めぐりあえましたか？

○ CONTENTS ○

PAGE

☆ つながりフェス鎌倉に参加しました	…1
☆ 本気度が疑われる市の「見学・説明会」-旧前田邸その後の動き-	…3
☆ 「新 鎌倉市史」編さん作業の加速を願って	…4
☆ 松坡先生をめぐる人々27 磯部三男吉 袴田潤一	…5
☆ 図書館とバリアフリー5 読書バリアフリー基本計画第2期と神奈川県 の状況 松本陽子	…6
☆ 2025年8月 ロサンゼルス中央図書館 チラリ拝見 古川真紀子	…7
☆ F☆L114 案内/NPOフェスティバル案内/湘南邸園文化祭案内	…8
☆ ボランティア連絡協議会報告／銀幕情報／活動日誌	…9
☆ 事務局から	…10



つながりフェス鎌倉に参加しました

(10月5日(日) 於：御成小学校)

♪ つながりフェス報告 ①

秋晴れのイベント日和となった10月5日に開催された「つながりフェス鎌倉」に参加しました。気温は30度近くまで上がり、暑さには閉口しましたが吹く風は心地よく、楽しい一日となりました。

このイベントは鎌倉青年会議所主催で、お隣の市役所駐車場で開催されていたオクトーバーフェスト（鎌倉商工会議所青年部主催）と連携して行われたものです。大人だけではなく子ども、家族そして地域全体で楽しめて繋がるのが目的でした。継続イベントではなく、今回が初開催でした。

私たちは9月半ばに主催者からお声がけいただき、短期間で用意できることは何だろうかと考えました。そしてみんなで楽しめる紙芝居の上演と、会場に隣接した旧鎌倉図書館について知っていただく活動との2つに決めました。

校庭には子育て支援グループがずらりと並びました。私たちは十五夜に因んだ作品を含む5つの紙芝



紙芝居で大盛り上がり！

居を用意し、時間を空けて 5～6 回演じました。初めのうちは同じく出展者である teamHINATA や teamSUNNY の子どもたちがたくさん見に来てくれましたが、午後からは一般の親子連れさんたちも増えてきて、赤ちゃんから小学生、大人の方まで皆さんに楽しんでいただけて嬉しかったです。

上演の合間には他の出展者一かまくら冒険あそび場やまもりさん、鎌倉友の会さん、鎌倉助産師会さん、アートとつながる鎌倉さん、teamHINATA&teamSUNNY さん、ヒッポファミリークラブさん、鎌倉あそび基地さん—と互いにブースを行き来し情報交換をしました。どの団体とも活動協力できるきっかけを得たことも大きな収穫でした。

会場で使用したテント、机、椅子はすべて主催者が用意・設営してくださり、大変助かりました。今後ぜひ参加したいと思いますが、今のところ来年以降は予定されていないとのことです。形を変えてでも、地域でつながり合うイベントが開催されることを望んでいます。（黒瀬）

♪ つながりフェス報告 ②



御成小学校の校庭でつながりフェスが実施されることを聞き、趣旨を読んですぐにこみ上げたのは、フェスにいらっしゃる皆さんに「旧鎌倉図書館の建物や、傍に建つ旌徳碑を正面から見てほしい、この建物の由来や竣工 90 年の紆余曲折をお伝えできたらー」という思いでした。

御成門から入ってすぐ右側のフェンスに展示パネル 5 枚を並べ、お持ち帰りいただけるようにと用意した案内リーフレットを手にして準備完了。御成門から次々と入っていらっしゃる皆さん

にお声をかけると、足を止めてパネルをご覧になり、拙い説明に耳を傾けてくださいます。

「道路からいつも眺めているけど、ここから見る景色は違うわね」「シートで覆われて一時はどうなるかと心配していたけど残ってよかった」「子どもが通っているし学校にはよく来るけどこの建物に気づいていなかったよ」「中はどうなってるの？以前の佇まいは残っているの？」「文化財級の建物が敷地内にこんなにあるなんて、さすが鎌倉ですね」等々。同窓生の方、旧図書館を利用していたという年配の方、放課後にお子さんがこの建物を利用しているご家族づれなど、皆さんからたくさんのお話を伺うことができました。

旧鎌倉図書館が登録有形文化財になっても見学会が叶わない現状の中、一回でも多く今回のような機会があるといいなと思います。そして、できることなら春・秋の 2 日間だけでいいから建物の中を内覧できるような仕組みになればいいなとも思います。そんな贈り物があれば、建物の維持管理に役立てられる「鎌倉市景観重要建造物等保全基金」[Microsoft Word - sonota-kenzoubutsu1.doc](#) への関心がさらに広がっていくのではないのでしょうか。

この日の参加は、阿部、黒瀬、平塚、星、和田、阿曾でした。

（阿曾）

本気度が疑われる市の「見学・説明会」 —旧前田邸その後の動き—

前号に引き続き旧前田邸をめぐるその後の動きを報告します。7月30日に予定されていた見学会が津波警報の影響で中止になったため、その振替が9月30日に実施され、説明会の部分は文学館の庭で見学者がある程度集まったら、その都度行うというかたちで行われました。

当日来場したとき、まず目に入ったのは門に近い場所で樹木を伐採する作業でした。そこに工事名や業者名を示す看板はなく、これについての質問が出ると、カフェをつくる予定で、子どもがグループで来たようなとき洋館内は段差があり危ないので、こうなったと説明されました。これに対して洋館をバリアフリーに改修するのは可能ではないかという意見も出たのですが、納得できる説明はありませんでした。どこにでもあるようなカフェをつくるのは、むしろ鎌倉らしい景観を損なうだけではないかと改めて思いました。周辺住民への説明会はやったのかという質問には実施していないと答え、旧前田邸解体を決めた経緯を示す文書公開をすべきという意見にも曖昧な回答しかなく、相変わらず説明になっていない説明会でした。

その一方で、計画の実施は着々と進んでいます。樹木伐採を行っていた場所は埋蔵文化財の発掘現場で、その旨を示す看板も建てられていました。11月16日に発掘調査についての現地見学会が催され参加しましたので簡単に報告します。

見学の最初は庭園内の本館に近い場所での出土品の展示です。発掘現場から出てきた陶磁器や素焼きの土器、銭貨などを箱に入れて並べられていました。どの時代のものかと聞くと、14世紀頃のものだったことでした。続いて発掘現場に行くと二カ所のつながった調査区があり、発掘調査を請け負った「パスコ」という会社の人が説明をしていました。それによると、ここは庶民の住居跡ではなく武家あるいは神社の跡地だろうと思われるが、発掘範囲が限られていて絵図面も遺されていないので、北条政子が造ったといわれる長楽寺の跡かどうかまでは確認できないということでした。見学者は途絶えることなく来場し市民の関心の高さを感じましたが、旧前田邸解体計画は着実に進行しています。今後は工事業者の選定に入り、来年6月頃に契約、夏頃から工事すると報道されており、市民への説明は形だけのものになっていると言わざるをえません。

発掘調査業務委託料には7186万円もの予算が付けられています。素人判断になりますが、これだけのお金があればバリアフリー化やレッドゾーン対策は可能ではないかと思ってしまう。9月30日の見学会で出会った或る市民は「ここを活用できないというのであれば前田家に返すべきだ」と言っていました。旧前田邸は活用すべきだし、できると考えますが、それをしないのなら寄贈者に返還するのが最低限の礼儀というものではないでしょうか。

(和田)



「新 鎌倉市史」編さん作業の加速を願って

11月5日、メンバー2人が栗原館長、渡邊係長（総務担当係長）と面談した際、市史編さんの取り組みについて現状を語っていただきましたのでお知らせします。

「市史編さんについては、平成24年に市長から教育委員会が補助執行を受け、図書館近代史資料担当において歴史的公文書の選別をはじめ、近代通史編発行以降、調査・執筆されていない30数年に関する資料の整理、広報かまくらや新聞などの刊行物から鎌倉に関する情報の洗い出しなど、できることを進めています。また、市史編さんの進め方や方向性を整理するための庁内準備チームを今年度中に立ち上げ、その中で編さん委員の選考や編さん内容についての検討を進めていく予定です。市史については、既刊部分の補遺などを行うことも考えられますが、まずは現代に繋がる時代の刊行を確実に進めていく必要があると思います。」

当会が松尾市長宛に要望書「鎌倉市制100周年記念事業として『新 鎌倉市史』を編纂することについて（要望）」を提出したのは、令和4（2022）年11月、丁度3年前のことでした。（参照：会報 [216.pdf](#) P1 及び [216-4.pdf](#)）一か月後にいただいた回答書では、「まずは市史編さんのあり方について検討を重ねるところから進めたい」との表現にとどまり具体的な取り組みへの姿勢はうかがえませんでした。（同：会報 [217.pdf](#) P7 及び [217-1.pdf](#) & [217-2.pdf](#)）

そこで、年が明けた2月議会に「鎌倉市制100周年記念事業に向けた『新 鎌倉市史』の編さんを求める陳情」を資料とともに提出し、2月6日の教育福祉常任委員会で意見陳述も行いました。審議後全員賛成で採択となり、3月3日の本会議でも全議員の賛成で陳情は正式に採択され、大きな期待がふくらみました。（同：会報 [218.pdf](#) P4 及び [218chinjo.pdf](#) & [218nenpyo.pdf](#) & [218sando.pdf](#)）

同時期、深沢への市庁舎移転や市役所所在地利活用の計画について市民への周知と意見聴取が進められていました。当会では両方に新設されるという図書館の在り方や、市史編さんに不可欠な歴史的公文書や一次資料の保管場所等の必要性について、パブリックコメントやワークショップの度に意見発信に努めてきました。庁舎の新設は「市史編さん事業の体制づくり」にも大きく影響すると考えたからです。

（同：会報 [219.pdf](#) P4）

しかしその後も一向に見えてこない市史編さん事業の進捗状況を把握したく、中央図書館に依頼し、2023年11月発行の当会会報に寄稿していただきました。（同：会報 [222.pdf](#) P6）

その後、折々の図書館協議会で市議会における関連質疑が報告されるものの、陳情者には何のお知らせもないまま2年がすぎています。陳情に賛同してくださった30団体の皆さまとともに、当会は引き続き市の取り組みを注視していく所存です。

市長選挙を経た松尾市長は、5期目となる施政運営に取り組んでおられます。鎌倉市の正史となる「新 鎌倉市史」をいかに残して後世に伝えていくのか？100年を綴る「新 鎌倉市史」編さんのその先も見据え、100年後の市民にも役立つ市史編さん作業を、今こそ加速していく時と思います。（阿曾）

*WEB版会報バックナンバーは「会報PDF版」と「特集記事・添付資料」のサイトからご覧いただけます
[会報 | 図書館とともだち・鎌倉](#) [資料室→要望書→陳情書 | 図書館とともだち・鎌倉](#)

松坡先生をめぐる人々 27 磯部三男吉

松坡文庫研究会 代表 袴田潤一



磯部雨舟による『松社同人集』の口絵

昭和 13(1938)年に非売品として刊行された『松社同人集』の巻頭に墨画を寄せているのが、松社同人、元海軍軍人で南画もよくした磯部三男吉(生年不詳～1963 号は雨舟)です。羽州鶴岡に生まれ、海兵第 32 期。同期

の山本五十六が明治 17 (1884) 年の生まれですから、雨舟の生年も同時期だと思われます。海兵卒業が明治 37 (1904) 年で、佐世保工廠総務部長(1926.4～1927.11)を最後に予備役(大佐)。太平洋戦争中に充員召集で運送船の監督官を務めています(1941.11～1942.10)。

雨舟の南画の修業についてははっきりしませんが、雨舟を師とする一廉の画家もおり、確かな画技は修得していたのでしょう。昭和 20 (1945) 年 3 月 17 日の神戸大空襲で焼失した湊川神社本殿が昭和 27 (1952) 年に復興新築された際、折り上げ格子天井を飾る画 164 枚のうちの 1 枚を奉納しています。靖国神社に絵を納めたという記録もあります。

雨舟はまた刀剣にも造詣が深く、日本刀の鑑定に関する著述があります。『日本刀講座』第 6 巻「刀剣鑑定・古刀」(雄山閣 1934)の「北陸道」の項は雨舟によるものです。刀剣鑑定の大家である神津伯^{はく}が鎌倉で主宰していた刀剣研究会に関わっていたと思われ、住まいは千葉でしたが、鎌倉には頻繁に足を運んでいたようです。そうしたことから、海軍退役後、昭和 5 (1930) 年頃から松社にも参加するようになったと思われます。松坡先生

七十の寿筵の詩会(1931.7.2 江の島さぬき屋)、七十七の寿筵の詩会(1938.6.19 鵜沼東屋)、八十の寿筵の詩会(1941.3.23 底倉温泉鳶屋)など、節目節目の会には欠かさず参加しています。松社の詩会、とりわけ寿筵などでは、参会者が書画を揮毫しました。松坡先生が古希祝いの会の折に詠んだ詩の一節には、「尊前海嶽晴騰彩 筆下雲煙氣壓虹(尊前の海嶽、晴れて彩騰^{さいあが}り、筆下の雲煙、気は虹を圧す)」とあります。尊(酒器)の向こうに見える相模湾と富嶽は彩が湧き上るようであり、宴席での揮毫の霞や雲の気は虹をも威圧するようだというのでしょうか。そうした席で雨舟は得意の南画を描いたに違いありません。

漢詩の腕前はどうかだったのでしょうか。松社同人の作を集めた上述の『松社同人集』には雨舟の漢詩が十首採録されています。その一つに、「寄題一杏庵^{きょうあん}(一杏庵に題を寄せる)」と題された七言絶句があります。「寄題」は指定された題で詩を読むこと、「一杏庵(杏庵)」は松坡先生の材木座水道路の住まいの庵号ですから、松坡先生の住まい或いは松坡先生その人を詠んだ詩ということになります。

新有佳人侍絳帷 先生講易午陰遲

夜來微雨已收盡 簾外杏花紅一枝

新たに佳人有りて 絳帷^{こうい}に侍し 先生易を講ず 午陰の遅きに。 夜來の微雨 已に収まり尽きて 簾外^{きょうか}の 杏花^{こういっし} 紅一枝。佳人は立派な男子、絳帷は赤い垂れ幕で、後漢の馬融が赤い帷^{とばり}を講席に垂らして生徒に授業したという故事から師の講席を言います。先生が松坡先生であることは言うまでもありません。新たに松坡先生の講義に立派な方が参加するようになった。午後遅い時間、先生は『易経』を講じている。昨夜から降り続いた粉糠雨もすっかり止んで、簾の向こうには杏の紅い花が綻んでいる。松坡先生の講義、春の風情を巧みに詠じていると思いませんか。

読書バリアフリー基本計画第2期と神奈川県状況

国の『視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画（読書バリアフリー基本計画）第2期』が本年3月に決定し公表されました。[001465991.pdf](#)

読書バリアフリー法は、視覚障害者等活字の利用が困難な方が、本を借りる（公共図書館等での障害者サービスの充実）と買う（書店などで流通する本や電子書籍のアクセシビリティ対応）の両面で利用しやすくなることを目的としています。第1期の計画が公表された後、各地方公共団体で計画が策定（努力義務）され、令和7年2月1日に公表されたデータによると、都道府県レベルでは、策定済と策定に向けて検討中を合わせると100%となっています。しかしその内容については地域差がかなり大きく、神奈川県は単独の計画ではなく2024年3月に策定された『神奈川県 当事者目線の障害福祉推進条例』[rubinashi_20250521.pdf](#)の中に盛り込むという位置づけとなっています。条例に基づく基本計画を見てみると、様々な障害者計画が詰め込まれていて、読書バリアフリーに触れているのはたったの1ページ（P149）。掲載されているのは5項目で具体的な計画が策定されているとはいえません。連絡会の開催や外部関係者を含めた会議を開催する計画も皆無ということです。そうすると図書館の障害者サービス担当の職員が孤軍奮闘していても市町レベルでの動きが鈍くなるのも当然の流れでしょう。特に神奈川県は視覚障害者や関連ボランティアの福祉施設である神奈川県ライトセンターの指定管理者が、令和8年度より、長年続いた日本赤十字社からNPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会に変わることが決定し、来年度の見通しが一時的に立たない状況にあります。貸出業務は円滑に継続されても、それ以外のサービスや支援の低下が懸念されます。令和4年度に6回開催された「ライトセンターあり方検討会」でも県としての読書バリアフリー計画を明確なものとするべきと求められていました。神奈川県の読書バリアフリーの担当課である福祉部障害福祉課企画グループに、国の計画第2期が策定されたのを受けて、今後動きがあるのかうかがったところ、今のところ単独の計画の策定や連絡会を開く予定は無いが意見として活かします、と希望を持てる返答ではありませんでした。

図書館とともにだち会員あるあるですが、先日県内他市を訪れた際に図書館に立ち寄りしました。同じ建物内に図書館と文書館があり、ユニバーサルデザインに配慮され居心地の良い羨ましくなるような図書館でした。録音室、対面朗読室も利用しやすい場所に配置されていましたが、録音室は現在使用禁止、対面朗読室には「利用できますが、朗読者は自身で探してください」と書かれていました。対面朗読をしてくれる人を自分で探す？なかなかハードルが高い気がします。そしてその市の録音奉仕会の活動は長年福祉センターを拠点としています。施設が整っていれば良いという訳ではないようです。計画も必要、そして図書館本館移転計画のある鎌倉市は、利用者や関係者の聞き取りを丁寧に行い、必要とされる障害者サービスが提供されることを願います。

（松本陽子）



2025 年 8 月 ロサンゼルス中央図書館 チラリ拝見

野球好きの娘から「ロサンゼルスヘドジャース観戦旅行に行かない？」と声をかけられ、私は30数年ぶりに海外旅行へ行けるチャンスとあって、大谷選手の二刀流大活躍程度しか知識がないのに、「行きた〜い！」と手を挙げてしまいました。地図を見ると「ロサンゼルス中央図書館」が目に入ってきました。「ニューヨーク公共図書館」の映画を見た記憶が蘇ってきて、きっと、ここも素晴らしい図書館に違いない！と俄然行ってみたくなってきたのですが、同行の妹と娘は図書館には全く興味がありません。ところが偶然にも宿泊ホテルは図書館と道を挟んで向かい側だったのです。隙間時間を縫ってワクワクしながら館内を見てまわる幸運に恵まれました。

まずは児童書の部屋に入ってみました。壁はLAの歴史と思われる壁画が全面に描かれていて、天井画も描かれています。重厚な雰囲気でありながら、親しみやすい装飾が施されていて、居心地の良さを感じました。お話を読んで聞かせるコーナーもありました。椅子は木製、照明も日本の感覚とは違います。

<https://www.lapl.org/branches/central-library/departments/childrens-literature>

次に覗いてみたかったのは、英語を母語としない人たち向けの英語講座のコーナーです。（「Caroline and Henry E. Singleton Adult Literacy Center」）私は外国につながる子どもたちへの日本語・学習支援ボランティアをしているので、蔵書にとっても興味がありました。でも、残念ながら1冊手に取ってパラパラ見るだけの時間的余裕しかありませんでした。それでも、見たこともないタイプの本で、刺激を受けました。ガラスの向こうの一角ではボランティアが英語を教えているようで、見学していいですよとスタッフにお声掛けいただきましたが、これもまた見学していただくことはできませんでした。<https://www.lapl.org/literacy>

地下から続くエスカレーターは吹き抜けになっていて、天井からは光が降り注いでいます。ポップな装飾が天井から吊り下がっています。次は、いろいろな言語の本が置いてあるフロアに行ってみました。日本語、韓国語、中国語、ロシア語……LAにはいろいろな国から人々がやってきていることを実感できるコーナーでした。

歴史のフロアへ行くと、ロサンゼルス古い地図がガラスケースで展示されていました。

なるほど、この図書館のある地区は、早い時期に開発されたことがわかります。

置きチラシには、無料で食料を配布する場所が示されたものもありました。建物の外の木陰にはホームレスと思われる人たちがそこそこに座っています。チラシがセーフティネットにつながっているのでしょう。

一番素敵な重厚な部屋が子どもの本の部屋だったことは、なんともいえない温かい気分にはさせられました。じつくりと1週間くらい朝から晩まで館内にこもっていたかったです。

ロサンゼルス市の人口は388万人ロサンゼルス都市圏の人口は1268万人、横浜市の人口は377万人、神奈川県人口は920万人だそうです。横浜に一つ、こんな立派で素敵な図書館があってもいいのにと思いました。帰国してから図書館のwebサイトをじっくり見たのですが、1986年に火事があり、7年間の閉鎖を経て1993年に再開したという歴史もある図書館だということです。その時の図書館職員、消防士、市民の奮闘ぶりも記されていて、よく学んでから行くべきだったと反省しきりです。

その火事のこと、この図書館の歴史などについて書かれた『炎の中の図書館』という本が出版されていることも、この文章を書く中で知りました。

<https://www.lapl.org/branches/central-library/virtualtour>



（古川真紀子）

ファンタスティック☆ライフラリー・114 ご案内

日 時：12月6日（土）・7日（日）10時～16時 会 場：鎌倉市中央図書館

申込不要・無料でどなたでも参加できます。皆さまお誘いあわせのうえ、お気軽にご来場ください。

◎かまくら女性史の会

展示 「かまくらの保育Ⅴ ～尽力した女性たち～」 1階展示コーナー

講演会 6日（土）14時～15時 多目的室 講師：橋本志津恵氏（前北郷保育園園長）先着 30名

◎松坡文庫研究会

展示 「間島弟彦・愛子と松坡先生」 3階ギャラリー・多目的室

ギャラリートーク 6日（土）15時15分～ 7日（日）14時～ 講師：袴田潤一氏 先着 30名

◎鎌倉の別荘地時代研究会

展示 「湘南の海の幸～大船軒の駅弁の話～」 3階ギャラリー他

◎図書館とともだち・鎌倉

・ととも活動紹介 パネル展示 1階展示コーナー

・間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

展示 「間島弟彦・間島愛子夫妻の寄贈本とゆかりの人々 PART3」 3階ギャラリー

・おはなしひこうせん

展示 「My Favorite Things」 パネルと絵本の展示 おはなしのへや

おはなし会 6日（土）14時～、7日（日）11時～、14時～ おはなしのへや

人形劇「キツネのいたずら」6日（土）10時30分～ 多目的室 先着 30名

（アマチュア人形劇団いちばん星による上演）

ワークショップ めりえとおりがみ 6日（土）人形劇終了後～12時 多目的室

◎図書館

・講演会 「みえる！さわれる！歴史に消えた鎌倉たたら製鉄～鎌倉たたら製鉄のなぞ～」

講師：木浪信之先生（元鎌倉高校教諭）7日（日）10時～12時 多目的室 先着 30名

・図書館見学 6日（土）・7日（日）13時～ 先着 8名（階段昇降可能な方）

・鎌倉女子大社会教育ゼミ おはなし会とあそび 7日（日）12時～、15時～ おはなしのへや

2025 かまくら市民活動フェスティバル ー大船ーご案内

「紡ぐ（つむぐ）～つながる鎌倉」

日時：12月14日（日）10時～16時 会 場：たまなわ交流センター

TOTOMOは、パネル展示とおはなし会で参加予定です。



湘南邸園文化祭『リレー講座・つながる神奈川の邸園文化』ご案内 第8回「神奈川の戦後建築の保存活用・旧神奈川県立近代美術館」

講 師：小林宜文氏（丹青社代表取締役）／穴道弘志氏（坂倉建築研究所）

日 時：12月20日 13:00-15:30

会 場：大路ビル3階会議室（鎌倉市小町 2-12-35）

参加費：2800円

協 力：鎌倉文華館鶴岡ミュージアム



お申し込みはこちらから

ボランティア連絡協議会報告

10月16日（木） 於：福祉センター

10月16日に委員会とボラ協マルシェを開催しました。委員会では社協から赤い羽根街頭募金協力の報告とお礼、ボラ協からは中間決算報告などがありました。会場の一角ではスタート時から珈琲野郎さんがスタンバイ。早めにいらした方は、コーヒー片手に委員会に参加していました。

委員会の後はいよいよマルシェ。今や恒例のはまなみさんのパンとともにコーヒーを楽しむ方が多かったです。別室では楽犬クラブ鎌倉さんによるクリスマスグッズ販売や傾聴かまくらさんによる古本市もあり、お買い物でも盛り上がりました。会場には能登の被災地支援の為の募金箱も置かれました。ここでいただいた募金は、社協職員さんが現地で活動する際の必要経費や現地での支援に使われます。この目だけで2万円以上も寄せられ、社協職員さんからは感謝の言葉がありました。

11月23日（日）には福祉まつりが開催されました。今年も多くの方々が詰めかけ、大変な賑わいとなりました。事前準備にも当日スタッフにも当会の複数メンバーが参加し、まつりの成功に一役買いました。（黒瀬）



かまくら銀幕上映会のお知らせ（主催：ドリーム・アーツ（03-5969-8081）於：鎌倉芸術館小ホール

12/11（木）『JOIKA 美と狂気のバレリーナ』

1/7(水)『秋が来るとき』

1/26 (月)『マリリン・モンロー 私の愛しかた』

2/19 (木)『パルテノペ ナポリの宝石』

◎前売り券・シニア 1100 円(当日券:1400 円)*鎌倉芸術館使用量の値上げに伴い、1月より鑑賞料金が100円アップとなりました。

◎上映時間①11:00～ ②14:00～

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館(0467-48-5500)へ

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます。

☆Facebook、X、Instagramでも情報発信しています。『かまくら銀幕上映会』で検索してフォローよろしくお願いします。



TOTOMO活動日誌 (9/25~12/2)

9/25 鎌倉から「世界」を読む会
9/26 読書会
9/30 旧前田邸見学会参加
10/1 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会
10/4 陣出遺跡見学会参加
10/5 つながりフェス鎌倉参加
10/6 Unileaf お手伝い
10/9 ボラ協役員会出席
10/16 おはなしひこうせん勉強会
10/16 ボラ協委員会&マルシェ出席
10/22~24 図書館総合展参加
10/23 Unileaf お手伝い
10/30 鎌倉から「世界」を読む会
11/2 茅ヶ崎の社会教育を考える会設立 50 周年
のつどい参加
11/6 ボラ協役員会出席
11/6 Unileaf お手伝い

11/13	Unileaf お手伝い
11/16	長谷小路周辺遺跡発掘調査現地説明会参加
11/17	福祉まつりバザー準備参加
11/18	図書館協議会傍聴
11/19	学校図書館サポーターズ倶楽部
11/20	おはなしひろくせん勉強会
11/23	福祉まつり参加
11/27	鎌倉から「世界」を読む会
11/28	読書会
11/29	学校図書館整備推進会議 図書館改革プロ ジェクトスタッフ参加
11/30	議会報告会参加
12/1	Unileaf お手伝い

ロビー活動 随時
定例会 9 回 (10/1, 8, 15, 22, 29, 11/5, 12,
19, 12/2)



月毎のカレンダーも最後の一枚となりました。今年度もTOTOMOの活動にご協力いただき、ありがとうございました。来年がより良い年となりますように。

ファンタスティック☆ライブラリー・114

日 時：12月6日(土)・7日(日) 10時～16時 場 所：鎌倉市中央図書館
申込み不要・無料で、どなたでも参加できます。皆さまのご来場をお待ちしています。
詳細は、8ページのご案内や図書館のHPをご参照ください。

第28回 2025年度会員総会

日 時：2月1日(日) 10時～12時 場 所：鎌倉市中央図書館3階多目的室
今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。
詳しいご案内は、次号に添付する総会資料をご参照ください。
総会後には、会員交流会を企画中です。
お問合せは、黒瀬(TEL/FAX 0467-22-8545)まで。

鎌倉から『世界』を読む会

毎月8日に発売される『世界』を各自読んで、月末に読書会を開催します。
第11回(1月号)：12月25日(木) 14時～16時 場 所：NPOセンター鎌倉
お問い合わせは、東(TEL 0467-46-5548)まで。

おはなしひろくせん勉強会

日 時：1月15日(木) 10時～12時 場 所：福祉センター
テーマ：「冬」寒さなんのその。冬の楽しさがいっぱい絵本や紙芝居をご紹介します。
お問い合わせは、黒瀬(TEL/FAX 0467-22-8545)まで。

読書会

日 時：1月23日(金) 11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉
テーマ本：デルフィーヌ・ミヌーイ著『シリアの秘密図書館』(東京創元社)、鈴木俊貴著『僕には鳥の言葉がわかる』(小学館) 皆さまのご参加お待ちしております。
お問い合わせは、杉崎(TEL/FAX 0467-41-4956)まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：12月3日(水) 13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉
お問い合わせは、鈴木(TEL 090-4728-5242)まで。

2025 かまくら市民活動フェスティバル ー大船ー

日 時：12月14日(日) 10時～16時 場 所：たまなわ交流センター
TOTOMOは、パネル展示とおはなし会に参加します。皆様のご来場お待ちしております。

★図書館友の会全国連絡会

来年5月、国へ手渡す要望書の検討が進んでいます。お問い合わせは、阿曾(TEL/FAX: 0467-45-5731)まで。



編集後記 * * * * *

☆私とKさんが横浜の「子どもの本の教室」に参加のため会報の発行がいつもより遅れました。
お陰様で、絵本作家の講演会を楽しむことができました。(A.S)
☆いつの間にか師走。「今年も一年速かったねー」と、いつもながらの挨拶で冬を迎えました。
今年も一年間、ご愛読ご寄稿ご協力いただき、ありがとうございました。(M.S)

題字・巻末カット：小島寅雄

2025年12月2日発行

図書館とともだち・鎌倉(代表：水岡やす子) 編集：阿曾・黒瀬・杉崎・斉木

事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34(黒瀬) TEL/FAX 0467-22-8545

HP：<https://totomo.sakura.ne.jp>

E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

